



株式のご案内

事業年度 毎年12月1日から翌年11月30日まで
定時株主総会 毎年2月中
基準日 定時株主総会については毎年11月30日
といたします。
そのほか必要があるときは、あらかじめ
公告して定めます。

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
特別口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社
株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
事務取扱場所 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
(お問い合わせ先) 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-288-324 (フリーダイヤル)
ホームページ <http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/>

(特別口座について)
株券電子化前に株式会社証券保管振替機構(ほふり)を利用
されていなかった株主様には、特別口座管理機関である
上記のみずほ信託銀行株式会社に口座(特別口座といいま
す。)を開設いたしております。特別口座についてのご照会
および住所変更等のお届出は、上記のお問い合わせ先にお
願いたします。

※証券会社に口座をお持ちの場合は、お取引の証券会社へお問
い合わせください。

公告方法 電子公告
但し、事故その他やむを得ない事由に
よって電子公告ができない場合は、日
本経済新聞に掲載

(ホームページアドレス) <http://www.asahieito.co.jp/>
上場証券取引所 大阪証券取引所(市場第二部)



第61期 報告書

平成22年12月1日 ▶ 平成23年11月30日

証券コード：5341

アサヒ衛陶株式会社

株主の皆様へ



取締役社長

町元 孝二



社 訓
誠實と明朗 技術と精進 親和と共榮
基本スローガン
社会に役立つ企業づくり

平素は、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
ここに、当社第61期（平成22年12月1日から平成23年11月30日まで）報告書をお届けするにあたり事業の概況をご報告申し上げます。
株主の皆様におかれましては、今後とも何卒変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年2月

事業の状況

当事業年度におけるわが国経済は、企業収益が外需主導により緩やかに回復を示し、設備投資に持ち直しの傾向が見られるなど足ふみ状態を脱しつつありましたが、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響を大きく受けることになりました。その後、回復基調にありましたが、海外経済の減速や円高などを背景とした輸出の伸び悩みや、生産減速の明確化など、回復テンポの鈍化傾向が顕著に見られるようになってきております。

住宅関連業界におきましては、新設住宅着工戸数が前年同月比で平成23年2月まで9ヶ月連続して増加していましたが、震災の影響で3月には前年同月比マイナスとなりました。しかし、4月から再びプラスに転じ、7月、8月には仮設住宅等復興関連の需要もあって前年同月比2桁増となりました。その後、3ヶ月連続でマイナスが続いていますが、減少幅は確実に縮小してきており、リーマンショック以降の緩やかな回復基調は持続しているものと思われれます。また、リフォーム市場は順調に拡大しております。

当社は、約2年前より主要部品の調達をほぼ全て海外調達に切り替えており、また、主力製品の組み立ては関西圏で行ってまいりましたので、震災によるマイナス影響はほとんど受けておりません。仙台営業所を約1ヶ月間閉鎖することになりましたが、人的被害はなく、受注業務を東京支店で代行できたこともあり、売上面での影響を最小限にとどめることができました。逆に、プラス面での影響は大きく、震災の影響を受けた競合メーカーの洗面化粧台を中心とする代替需要が発生したため、売上の底上げにつながる結果となりました。

このような経済環境の中、当社の当事業年度における業績は、前期比大幅な増収増益となりました。震災需要部分を調整しても、営業利益は確実に確保できており、コスト削減努力による収益構造改革の効果が目に見える形で現れてきております。

これは、新たな経営陣のもと、当事業年度を「アサヒ衛陶第2の創業」と位置付け、「START MISSION“V”」（全ての業務は黒字化に向けて）のスローガンを掲げ、衛生陶器海外委託生産体制の強化、水栓金具の海外調達、生産拠点および物流拠点の集約による運賃コスト削減など、積極的に改革を進めてきたことの成果であると考えております。

以上の結果、当事業年度の売上高は3,354百万円（前年同期比12.9%増）となり、営業利益116百万円（前年同期は営業損失121百万円）、経常利益112百万円（前年同期は経常損失122百万円）、当期純利益107百万円（前年同期比236.3%増）となりました。

設備投資および資金調達の状況

当事業年度において実施いたしました設備投資は、給水栓用等金型が主なもので、その総額は10百万円であります。

また、平成23年6月に運転資金として長期借入金158百万円の資金調達を行いました。

会社に対処すべき課題

わが国経済は、東日本大震災以降、持ち直しの兆しが見られたものの、欧州財政金融危機などに因る海外経済の減速や、歴史的円高による輸出・生産の伸び悩みなどに、厳しい雇用環境も加わり、先行き不透明感を払拭できない状況が続くものと思われれます。

国内の住宅設備市場におきましては、急激な伸びは期待できないものの、住宅エコポイント、フラット35の延長や、本格的な復興需要期待、およびリフォーム市場の拡大に下支えされて、堅調に推移するとの見方も出てきております。

こうした状況の中、当社は第62期を「アサヒ衛陶 第2の創業」2年目と位置付け、「CHALLENGE NEW MISSION “II”」～黒字の継続を目指して～のスローガンの下、第61期に築いた営業黒字体質を、更に強固なものとするために、収益性の向上を最重要課題として、下記項目を掲げ目標達成に向けて全力で取り組んでまいります。

1. 収益改善として
 - ・海外委託生産体制の見直しを行うことによる更なる生産コスト削減。
 - ・海外仕入先への移管強化および仕入商品の仕様見直しによる仕入価格のコスト削減。
 - ・海外からの輸入体制再構築による運賃コスト削減。
2. 財務体質の改善として
 - ・平成23年12月より、全金融機関への借入金の約定返済を開始。また、同年7月には新株予約権を発行し、株価が回復した時点で新規調達できる体制を整えております。
3. 販売強化として
 - ・海外調達の推進による価格競争力のついた商品の拡販と新規販路の開拓。

継続企業の前提に関する注記の解消

当社は第51期から第60期までのうち第53期を除き継続的に営業損失を計上しており、当該状況により、「継続企業の前提に関する注記」を記載しておりました。

当社は当該状況を解消すべく、第61期を「アサヒ衛陶第2の創業」と位置付け、「START MISSION“V”」（全ての業務は黒字化に向けて）のスローガンの下、①製造品質の向上、②仕入商品コスト削減、③生産拠点および物流拠点の集約化、④財務体質の改善、⑤販売強化、を継続して進めてまいりました。

これらを着実に実行した結果、平成23年11月期決算におきまして業績が大きく改善し、営業利益116百万円、経常利益112百万円、当期純利益107百万円となりました。第61期における営業活動によるキャッシュ・フロー収入は136百万円となり、現預金期末残高が414百万円に増加したことにより金融機関に対する約定返済を確実に継続できる水準にあると判断しております。

以上により当社の今後の事業展開並びに財務、収益基盤を勘案したうえで、平成23年11月期において、継続企業の前提に関する重要な疑義を抱かせる事象または状況は存在しないものと判断し、平成23年11月期に係る計算書類において、当該注記の記載を解消することといたしました。

当社では、引き続きより一層の構造改革や安定した財務体制の構築を推し進めるとともに、更なる業績向上と企業価値の向上に努めてまいります。

ベトナムに販売子会社設立

平成23年7月にベトナム社会主義共和国 ホーチミン市に当社100%出資の販売子会社 ビナアサヒ (VINA ASAHI CO.,LTD.) を設立いたしました。中長期的には、「海外で企画開発した製品を“ベトナムを中心としたアジア市場”に納品するアウト・アクトビジネス」を、当社の成長の柱の一つとしていくことを目指しております。



事務所 ベトナム ホーチミン市7区 IPC Office Tower 3F

貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当 期 (平成23年11月30日現在)	前 期 (平成22年11月30日現在)
(資産の部)		
流動資産	1,392,348	1,141,121
現金及び預金	414,562	159,936
受取手形	262,966	246,987
売掛金	430,221	352,490
商品及び製品	251,580	328,028
前渡金	25,812	42,945
その他	8,805	12,033
貸倒引当金	△ 1,600	△ 1,300
固定資産	647,391	661,668
有形固定資産	580,479	600,065
建物	201,142	215,288
構築物	12,988	15,363
機械及び装置	13,075	16,888
車輛・工具器具及び備品	9,130	9,024
土地	343,501	343,501
建設仮勘定	641	—
無形固定資産	5,220	6,042
ソフトウェア	1,617	2,423
その他	3,603	3,619
投資その他の資産	61,691	55,560
投資有価証券	29,116	32,375
出資金	50	50
関係会社出資金	8,188	—
破産債権等	64,629	64,214
差入保証金	23,277	23,135
貸倒引当金	△ 63,570	△ 64,214
資産合計	2,039,740	1,802,790

(単位：千円)

科 目	当 期 (平成23年11月30日現在)	前 期 (平成22年11月30日現在)
(負債の部)		
流動負債	554,119	377,391
支払手形	23,962	34,007
買掛金	86,944	67,718
短期借入金	318,626	145,514
未払金	60,840	55,676
未払法人税等	12,610	12,988
未払消費税等	14,250	24,844
未払費用	28,816	30,164
預り金	2,002	3,068
賞与引当金	3,760	3,120
その他	2,306	289
固定負債	281,497	333,114
長期借入金	183,306	227,263
退職給付引当金	73,316	79,795
預り保証金	24,874	26,055
負債合計	835,617	710,506
(純資産の部)		
株主資本	1,199,997	1,092,280
資本金	1,483,960	1,483,960
資本剰余金	109,367	109,367
資本準備金	109,367	109,367
利益剰余金	△ 392,321	△ 500,094
その他利益剰余金	△ 392,321	△ 500,094
繰越利益剰余金	△ 392,321	△ 500,094
自己株式	△ 1,008	△ 952
評価・換算差額等	2,584	3
その他有価証券評価差額金	2,584	3
新株予約権	1,540	—
純資産合計	1,204,122	1,092,283
負債及び純資産合計	2,039,740	1,802,790

損益計算書

(単位：千円)

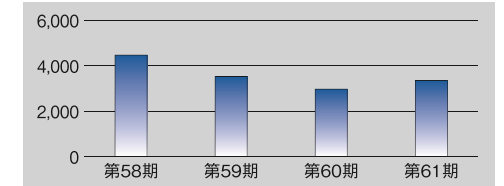
科 目	当 期 (平成22年12月1日から 平成23年11月30日まで)	前 期 (平成21年12月1日から 平成22年11月30日まで)
売上高	3,354,047	2,972,111
売上原価	2,167,888	2,010,235
売上総利益	1,186,159	961,876
販売費及び一般管理費	1,069,546	1,083,023
営業利益又は営業損失	116,612	△ 121,146
営業外収益		
受取利息・受取配当金	636	573
その他	26,101	29,879
営業外費用		
支払利息	10,387	10,750
その他	20,287	20,582
経常利益又は経常損失	112,675	△ 122,026
特別利益		
投資有価証券売却益	764	—
新株予約権戻入益	2,260	—
貸倒引当金戻入額	1,200	887
固定資産売却益	—	157,323
受取和解金	—	32,468
特別損失		
投資有価証券評価損	17	6,514
固定資産除却損	109	8,563
減損損失	—	3,906
貸借契約解除による取戻費用	—	8,670
税引前当期純利益	116,773	40,998
法人税、住民税及び事業税	9,000	8,950
当期純利益	107,773	32,048

キャッシュ・フロー計算書

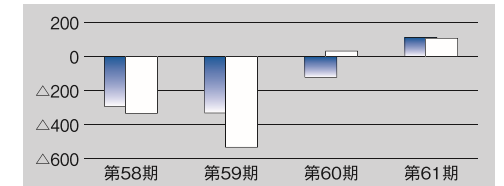
(単位：千円)

科 目	当 期 (平成22年12月1日から 平成23年11月30日まで)	前 期 (平成21年12月1日から 平成22年11月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	136,301	△ 12,885
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 12,315	638,583
財務活動によるキャッシュ・フロー	130,638	△ 570,336
現金及び現金同等物の増加額	254,625	55,360
現金及び現金同等物の期首残高	159,936	104,575
現金及び現金同等物の期末残高	414,562	159,936

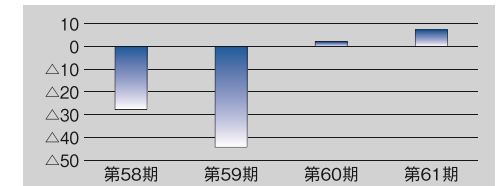
■売上高 (単位：百万円)



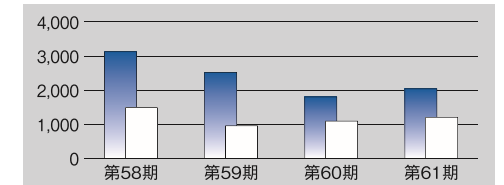
■経常損益 □当期純損益 (単位：百万円)



■1株当たり当期純損益 (単位：円)



■総資産 □純資産 (単位：百万円)



会社の概要 (平成23年11月30日現在)

商号 アサヒ衛陶株式会社
英文社名 ASAHI EITO CO., LTD.
創業 享保年間
設立年月日 昭和25年12月20日
本店 堺市美原区小平尾451番地
資本金 14億8,396万円
営業目 衛生機器 (衛生陶器・附属器具・水洗便器セット・その他関連機器)
 洗面機器 (洗面化粧台・化粧鏡・天板・その他関連機器)

従業員の状況

従業員数	平均年齢	平均勤続年数
69名	41.3歳	12.2年

事業所の所在地

本社 〒587-0021 堺市美原区小平尾451 ☎072-362-5235
東京支店 〒115-0056 東京都北区西が丘1-21-1 ☎03-3900-2665
大阪支店 〒587-0021 堺市美原区小平尾451 ☎072-362-5234
九州支店 〒841-0042 佐賀県鳥栖市酒井西町640-1 ☎0942-83-3344
仙台営業所 〒984-0038 仙台市若林区伊在字東通29 ☎022-287-8031
松山営業所 〒790-0063 愛媛県松山市辻町11-27 ☎089-922-6646

役員 (平成24年2月28日現在)

代表取締役社長 町 元 孝 二
 取締役 福 森 哲 也
 取締役 上 野 泰 志
 取締役 越 野 秀 司
 常勤監査役 景 山 好 庸
 監査役 中 光 弘
 監査役 井 関 新 吾

(注) 監査役のうち中光 弘、井関新吾の両氏は、社外監査役であります。

会計監査人 (平成24年2月28日現在)

OAG監査法人

株式の状況 (平成23年11月30日現在)

株式事項

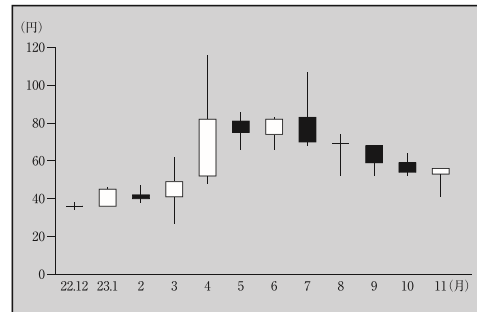
株式総数および株主数の状況は次のとおりであります。
 発行可能株式総数 48,000千株
 発行済株式の総数 14,940千株
 株主数 1,356名

大株主の状況 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
仁慈資源ファンド1号投資事業組合	2,677千株	17.93%
アサヒ衛陶取引先持株会	699	4.68
大阪証券金融株式会社	505	3.38
丹 司 克	462	3.09
双日プラネット株式会社	449	3.01
阿 部 五 美	380	2.55
松 井 公 治	301	2.02
阿 部 敬 二	266	1.78
マイルストーン・キャピタル・マネジメント株式会社	260	1.74
バンクオブニューヨークアイエスアジア ピーティーイーバンクトラウキョウレジデント	236	1.58

(注) 持株比率は自己株式 (11,866株) を控除して計算しております。

株価の推移 (大阪証券取引所)



トピックス

新商品紹介

温水洗浄便座「サンウォッシュ」にリモコンタイプが新登場

基本的な洗浄機能を備え、より高い快適性を持ち合わせた「サンウォッシュ」のリモコンタイプを平成23年春に発売いたしました。操作パネル部が側面に位置していた従来モデルと比べ、スッキリとしたフォルムで便器との見た目の相性もよく、拭き掃除などのお手入れも簡単になりました。ラブリーホワイトとラブリーアイボリーの2色をご用意、脱臭機能が付いていないエントリーモデルも選択可能です。



「復興支援・住宅エコポイント」として制度が再開期間 平成23年11月21日～平成24年10月31日

たくさんの申請があり惜しまれつつも早期終了となった「住宅エコポイント」が「復興支援・住宅エコポイント」として制度が再開されました。

復興支援・住宅エコポイント制度は、東日本大震災の被災地復興支援を目的として、住宅の省エネ化、住宅市場の活性化および一定要件を満たすエコ住宅の新築またはエコリフォームをした場合に申請する事でポイントが発行され、そのポイントを使って被災地の商品やエコ商品等と交換できる制度です。



当社では前制度に引き続き、エディ766、エディ566、ワンピース (手洗付)、ワンピース (床排水) の他に、ワンピース (手洗なし) が新たに追加となりました。

また、制度の詳細につきましては当社ホームページまたは住宅エコポイント事務局のホームページをご覧ください。

当社ホームページ

→ <http://www.asahieito.co.jp/ecopoint/>

住宅エコポイント事務局ホームページ

→ <http://fukko-jutaku.eco-points.jp/>